

J-CaJa

(Join-Cambodia&Japan/カンボジアNGO協働PROJECT)



活動の目的

- 1 | カンボジアでの貧困地域における教育環境改善に対する支援
- 2 | 学校の自立運営のサイクル構築

連携にいたる経緯

カンボジアでは、歴史的背景により教育制度の崩壊など様々な問題が起こった。この問題を解決するために、現地の人と協力することでカンボジアの教育環境の改善を目的とし設立された。また、本を読む機会を作ることが学生の知識増加に繋がると考えたため、図書室の設置なども行っている。

活動内容

私たちは、カンボジアの教育を改善するため「①図書室の整備②学校菜園の充実③交流」の3つの軸で主に活動している。この3点についての詳細は以下に示す。

- ①図書室の整備…図書室の設置、壁やタイルの張り替え、本などの備品の贈呈、等
- ②学校菜園の充実…耕作の仕方や作物の育て方の指導、種などの贈呈、等
- ③交流…多種多様なワークショップ、副教科の授業の実施、本のPOP作成、等

活動の成果

- 1 | 図書室の利用者数の増加
- 2 | 現地の学校による学校菜園の自立運営の実施による菜園の拡大
- 3 | 交流によつての信頼関係の構築

今後の課題・目標

- 1 | 教師に対し、心に変化を与えることができるような内面的アプローチの強化
- 2 | 学校の経過観察をするために、こまめな連絡と対話の機会を増やす
- 3 | 現地学生に対し、双方向である参加型の授業の実施

● 教員紹介



総合情報学部 教授 久保田 賢一(くぼた けんいち)

「学ぶことは生きること」をモットーに、学生が生き生きと活動することを通して社会貢献する学習環境のデザインを研究している。その方法として、教室の外に出て、地域の人たちと連携して活動をするプロジェクト型のアクティブラーニングを推進している。学生が主体的・自律的に活動するためには、上級生と下級生の連携、外部の人たちとの協働が欠かせない。国内だけではなく、海外の大学やNGOと協働して、現実社会の問題解決に取り組む。

DATA

● 主な連携先・メンバー

〈連携先〉 NGO/ EPS/ Sreivibol Kei Secondary school 等
 〈メンバー〉 蔵本直哉/ 川口創太郎/ 三島佑香/ 松浦実奈/ 濱田良子/ 梅本彩香/ 梶川咲月/ 西山由麻

● 活動地域

Siem Reap周辺

● 活動資金

日本財団学生ボランティアセンターGakavo助成金/ 関西大学助成金 等

